

Hem21 NEWS

公益財団法人
ひょうご震災記念21世紀研究機構
ニュース

「Hem21」は、ひょうご震災記念21世紀研究機構の英語表記である
Hyogo Earthquake Memorial 21st Century Research Instituteの略称です。

令和4年(2022) 1月

Vol.91

CONTENTS

- 1~2 令和3年度 「ひょうご講座」の開催
- 2 広域経済圏活性化による経済成長戦略
- 3~4 情報ひろば
- 5 HAT神戸掲示板
- 6~8 人と防災未来センター MIRAI

令和3年度 「ひょうご講座」の開催

県民の生涯学習ニーズに応えるため、当機構の知的ネットワークを活用し、テーマ性を明確にした大学教養レベルの連続講座「ひょうご講座」を開講しています。本年度は、10月から12月にかけて平日夜間(18:30~20:00)に、交通の便の良い兵庫県民会館を会場として実施しました(新型コロナウイルス感染症による影響のため1ヶ月順延して実施)。また、定員についても一般コース各分野40名、リカレントコース各分野20名に抑制し、室内環境に配慮しながらの実施となりました。



(1)一般コース

幅広い年齢層の方々を対象として、防災・復興、地域創生、国際理解の3分野で実施しました。

- 防災・復興分野では、「地域における災害対応力を高める」をテーマに、気候変動等による自然災害の激甚化や、将来起こる可能性が高いと言われている南海トラフ地震、また新型コロナウイルス感染症による複合災害等々を取り上げました。私たちの命と暮らしを守るため、災害の被害軽減に向けて何をなすべきか、様々な視点から学びました。
- 地域創生分野では、「ポストコロナ社会を考える」をテーマにしました。デジタル化の進展とともに、新型コロナウイルス感染症によるパンデミック等が、人々の暮らし方や働き方、住まい方等に大きな影響を及ぼしつつあります。こうした中、私たちは持続可能な新たな社会の構築に向けてどのように取り組んでいけば良いのか、SDGs

の考え方を学び、新たなライフスタイルやまちづくり等々、様々な角度から考えました。

- 国際理解分野では、「ポストコロナ時代の国際情勢の行方」をテーマに、米国や中国の情勢を軸に、ASEANの取組、英国のEU離脱等々を取り上げました。米中対立の現状と行方、そして世界は今後どのような方向に進んでいくのかなど、グローバルな視点で考え、学びました。この国際理解分野は、以前から人気が高く、また熱心な受講者からの鋭い質問に、講師の先生方からも賛辞を頂きました。

(2)リカレントコース(令和元年度から実施し、今回で3回目)

主に現役で働いている社会人の方を対象とし、自らのキャリアアップやセカンドキャリア構築の一助となることを目標としたコースです。経営戦略、データサイエンス、AI活用実習の3分野で実施し、中には複数分野を掛け持ちされる受講者もおられました。

- 経営戦略分野では、「企業の経営戦略を学び、マネジメントスキルを身につける」をテーマにしました。企業を取り巻く経営環境が大きく変化していく中、財務会計や決算書の読み方、マーケティングの基本と実例、マネジメントの考え方や要諦等々、幅広く学びました。
- データサイエンス分野では、「ビッグデータ、AIとその周辺を読み解く」をテーマに、今世界がAIに通じた人材を求めていると言われている中、その現状と課題、今後の方向などについて取り上げました。道具としてのAI活用、最適化技術、人の動きや行動を分析する機械学習技術、小売業分野におけるデータ分析、オペレーションリサーチの現状等々、様々な角度から学びました。
- AI活用実習分野では、ビッグデータの分析や応用について、Python(プログラミング言語の一つ)による機械学習プログラミングに取り組みました。PCを使った実習により、実際に手を動かして機械学習プログラムを体験することで、その基礎技術への理解と、今後の応用につながる実践的な知識・技能を習得しました。

今後に向けて

一般コース、リカレントコースの計6分野で、出席率が7割以上の方(約9割)に修了証をお渡ししました。

受講者の満足度は8割を超えており、質問も活発で、時間の関係から質問用紙に記入してもらって後日回答すると

いうケースも多く見られました。

受講後には、「軽い気持ちで受講したが、大変勉強になった」「日常考えてなかった視点、気づきが得られた」「体験に基づいた話が面白く役立った」「一流の先生の講義は大変勉強になる」「プログラミングの要領がわかり満足した」等のコメントを頂きました。

個々の講義に関して、更なる内容の深化や充実を期待する声もあり、今後ともより満足していただける講座となるよう工夫していきたいと考えています。



広域経済圏活性化による経済成長戦略

主任研究員 朴 延



1. 本研究会の概要

近年では、数十年にわたり経済・産業・教育における「東京一極集中」が進み、日本の社会経済、とりわけ関西の社会経済が停滞していることが問題視されています。「広域経済圏活性化による経済成長戦略研究会（以下、本研究会）」では、政府の「地方創生」政策に欠けている、イノベーションの発想（スマート産業・エネルギー・人財^{*}育成・雇用など）による広域的な空間政策を示し、経済成長戦略として検証することを目的として平成30（2018）年から取り組んでいます。（※「宝」のニュアンスを強調した当て字）

本研究会では、2つの分科会を設置して研究を進めています。

その一つである「大阪湾バイエリア構想分科会」は令和元（2019）年度から2（2020）年度まで研究を行いました。そこでは、多様な分野の有識者および実務家と大阪湾に面している自治体の職員にも参加いただき、従来関西圏の自治体で進められてきた「大阪湾バイエリア構想」に着目し、その発展方策と都市開発の在り方について議論・検討しました。具体的には、大阪湾バイエリアを競争力のある広域圏の中核として位置付け、バイエリア事業の機能性や推進手法、経済的帰結への影響を多角的に分析し、政策の改良や新たな仕組み・制度について提言を行いました。令和3年3月には公開フォーラムを開催し、バイエリアにおける将来の展望とその発展方策について議論を交わすとともに、2年間の研究で得られた知見を「大阪湾バイエリア構想分科会最終報告書」に取りまとめました。

もう一つの「データ分析分科会」では、国勢調査や兵庫県の経済指標等、社会経済に関するデータを用いて、関西における広域経済圏の実態について、さまざまな観点から分析しました。具体的には、関西圏での第二層都市圏抽出のための分析モデルの構築、地理情報システム（GIS）を用いた関西地方の経済広域圏の実証、ビッグデータを活用したヒト・モノ・カネの動きの実証分析、自治体の経済・産業政策に対する政治的影響の分析等に取り組んでいます。

2. 政策提言に向けて

本年度は4年にわたる研究の最終年度であるため、「東

京一極集中」の問題や、大胆な「地域創生」についての議論や調査・分析の研究成果を最終報告書に取りまとめる予定です。

特に、加藤恵正教授（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・プロジェクトリーダー）と上村敏之教授（関西学院大学経済学部）が中心になって、2025年大阪・関西万博（正式名称は2025年日本国際博覧会）を契機に、持続可能で成長する関西を実現させるためにはどのような仕組みと関わり方が必要なのか議論を重ねており、兵庫県政につながるタイムリーな政策提言を目指しています。

ここでは、「スマート戦略」「空間戦略」「人財戦略」に体系化し政策提言を試みています。その内容は以下の3つになります。

(1) スマート戦略

関西経済の市場の健全化と関西企業の新陳代謝の加速を目指しています。また、環境に配慮した健全な成長を実現させるためのグリーンイノベーションを提案します。

(2) 空間戦略

都市計画・まちづくりに関わる戦略であり、経済戦略をどのように「空間」に落とし込むのか、一つの拠点だけでなく、拠点と拠点をつなぐことで面的広がり（広域連携）を試みています。

(3) 人財戦略

関西の硬直化した労働市場に問題意識を持ち、積極的な労働市場と教育投資を目指しています。柔軟できめ細かな雇用・就業の仕組みにおける再構築の可能性についての提案になります。

政策提言は、以上3つの戦略を連動させて動かすことを試みています。今後、「スマート＋空間」「空間＋人財」「スマート＋人財」を重ねて連動させることで、より具体的な仕組みを構築させることを目標としています。最終的に「スマート＋空間＋人財」を連動させた戦略を通して、再生・創造を支える新たなシステムとして再構築し、2025年大阪・関西万博に向けて集中的に改革に取り組んでいくことが必要と考えています。

以上の課題を体系化し総合的にとりまとめ、本年度中に政策提言へとつなげることにしています。

情報ひろば

研究戦略センター

21世紀文明シンポジウム「迫り来る巨大災害への備え ～首都直下地震や南海トラフ地震の減災復興戦略」開催(オンライン)のご案内

ひょうご震災記念21世紀研究機構は、安全・安心な減災社会の実現を目指すため、東日本大震災の被災地で地震・津波等に関する研究を推進する東北大学災害科学国際研究所、戦前戦後を通じて防災報道を重視してきた朝日新聞社と平成28(2016)年6月に三者協定を締結し、共同でシンポジウムを開催してきました。

今回は、5年間の取り組みを総括し、わが国の社会に甚大なダメージをもたらす恐れのある首都直下地震や南海トラフ地震などの巨大災害を見据え、社会の総力を挙げていかに備え、被害軽減や早期の復旧・復興につなげていくべきかについて議論します。当シンポジウムはオンライン開催とし、YouTubeでライブ配信します。

- 日 時=2月19日(土)13時～17時
- 会 場=オンライン開催(YouTubeでライブ配信)
- 参加費=無料
- 主 催=ひょうご震災記念21世紀研究機構、東北大学災害科学国際研究所、朝日新聞社
- 後 援=内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、総務省消防庁、東京都、兵庫県、関西広域連合
- 内 容

○基調講演Ⅰ「首都直下地震と南海トラフ地震に備える事前防災と事前復興」
講師 中林 一樹(東京都立大学・首都大学東京名誉教授)

○基調講演Ⅱ「巨大地震・地球温暖化・人口減少にどう備えるか」
講師 米田 雅子(防災学術連携体代表幹事/東京工業大学特任教授/日本学術会議会員)

○パネルディスカッション

「巨大災害に対する事前防災と復興のあり方」

コーディネーター 御厨 貴(機構研究戦略センター長/東京大学名誉教授)

パネリスト 平田 京子(日本女子大学家政学部住居学科教授)

小林 茂(前東京都危機管理監/現東京都参与)

伊藤 毅(NPO法人事業継続推進機構副理事長)

佐々木 英輔(朝日新聞社編集委員)

○総括

五百旗頭 真(機構理事長/兵庫県立大学理事長)

今村 文彦(東北大学災害科学国際研究所長・教授)

小林 舞子(朝日新聞社東京科学医療部次長(医療担当))

- 申し込み方法=2月15日(火)までに機構ホームページから申し込んでください。

<https://www.hemri21.jp/>

※申込者には、開催前に視聴方法・URL等を事務局より連絡します

【問い合わせ】

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター

TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122 Eメール gakujutsu@dri.ne.jp



中林 一樹



米田 雅子

思いに色を、カタチを与える

写真集・詩集・自費出版の
お問い合わせは

神戸新聞総合印刷
神戸新聞総合出版センター

<https://www.kobepn-printing.co.jp/>

研究情報誌「21世紀ひょうご」第32号発行のお知らせ

現代社会の課題を的確に捉え、専門的立場から課題を分析・紹介し、具体的な提案を行う情報誌です。3月発行予定の第32号では、「気候変動と防災・危機管理」を取り上げます。気候変動(変化)の影響により世界的に頻発する災害に対し、どのように備え、対策をとるべきか、また、感染症との複合リスクなど、幅広い観点から今後のあるべき社会像について考えます。

【内容】

■巻頭言 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
副理事長・人と防災未来センター長
河田 恵昭

■特集 「気候変動と防災・危機管理」
(執筆者)

京都大学防災研究所長・教授 中北 英一
京都大学大学院工学研究科教授 立川 康人
関西大学社会安全学部教授 小山 倫史
京都大学防災研究所副所長・教授 森 信人

日本大学危機管理学部・大学院新聞学研究科教授
福田 充

■トピックス

21世紀文明シンポジウム
東日本大震災復興の総合検証報告会

▶B5判 約120ページ

▶発行=年2回

※既発行号等については、当機構のホームページをご参照ください
<https://www.hemri21.jp/research/research-the21-hyogo/>
※第31号(特集テーマ:ポストコロナ社会の課題と展望)は、ジュンク堂書店三宮店(三宮センター街)で販売しています

▶購読料=800円(送料別途)

※定期購読をされる場合は、年間購読料1,600円(送料込み)

【申し込み・問い合わせ】

研究戦略センター学術交流部交流推進課
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122
Eメール gakujutsu@dri.ne.jp

兵庫自治学会

第2回オンラインセミナー開催のご案内

「SDGs未来都市～ポストコロナの持続可能な地域づくり～」をテーマに、内閣府のSDGs未来都市に選定された取り組み内容を紹介し、今後のポストコロナ社会に向けた持続可能な地域づくりについて意見交換します。

- 日 時= 3月25日(金)10時～11時30分(予定)
- 内 容= 草郷孝好・関西大学社会学部社会学科社会システムデザイン専攻教授をコーディネーターに、本年度、内閣府のSDGs未来都市に選定された姫路市と西脇市および兵庫県の関係者によるパネルディスカッションをオンラインで実施し、ライブ配信します。
- 本年度SDGs未来都市に選定された2市のテーマ
姫路市「世界をつなぐSDGs未来都市ひめじの夢」
西脇市「人輝き 未来広がるSDGs田園協奏未来都市にしわき」

- 申し込み方法= 後日、兵庫自治学会のホームページに申込方法等を掲載します(自治学会会員に限らず、どなたでも申し込みます)

兵庫自治学会は会員を募集しています

兵庫県職員、県内市町職員、県内在住または在勤の学識者・NPO職員、その他本会の目的に賛同される個人の方ならどなたでも入会いただけます。年会費2000円。(兵庫自治学会ホームページから申し込みます)

【問い合わせ】

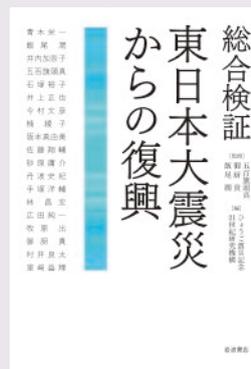
兵庫自治学会事務局(研究戦略センター内)
TEL 078-262-5713 FAX 078-262-5122
<http://hapsa.net/>

「総合検証 東日本大震災からの復興」発行のご案内

平成28(2016)～令和元(2019)年度に実施した当機構の自主研究「東日本大震災復興の総合的検証一次なる大災害に備える」の成果について再編集し、岩波書店より発行されました。

本書では、広く一般向けに発災から10年を経た復興の現状をはじめ、阪神・淡路大震災からつながり発展し続けてきた危機管理と災害対応、復興政策のあり方を示しています。

<https://www.iwanami.co.jp/book/b556123.html>



HAT神戸 掲示板

兵庫県立美術館

特別展

「ライデン国立古代博物館所蔵 古代エジプト展」

大英博物館やルーヴル美術館などと並ぶ世界屈指の古代エジプト・コレクションを誇るオランダのライデン国立古代博物館の約25,000点にのぼる所蔵品から厳選した、ミイラや副葬品を含む約250点の展示品によって構成する展覧会です。近代人を魅了した遺跡発掘から、CTスキャンを駆使し、現代科学の粋によって解明されたミイラの生前の様子など、ライデン国立古代博物館の全面的な支援のもと、古代エジプト文明の魅力をさまざまな視点から紹介します。

■会期＝2月27日(日)まで

※予約優先制(チケットの購入とは別に入場日時的事前予約をお願いします)

■観覧料＝一般1,800円、大学生1,400円、70歳以上900円、高校生以下無料

◎休館日＝月曜日

◎開館時間＝10時～18時 ※入場は閉館の30分前まで

※予約・展覧会についての詳細は展覧会公式サイト(<https://egypt-leiden-kobe.com>)にてご確認ください

◎予約・展覧会についての問い合わせ

TEL 078-262-1011



①



②

①《アメンヘテプの内棺》 第3中間期
(蓋)長さ185cm、幅50cm、高さ35cm

②《パディコンスの『死者の書』》 第3中間期
縦24.5cm、横61.2cm

All images©Rijksmuseum van Oudheden (Leiden, the Netherlands)

JICA関西

◆食べることから始める国際協力!

JICA関西食堂の月替わりエスニック料理

JICA関西1階の食堂(カフェテリア方式)は、どなたでもご利用できます。完全禁煙で、安心して料理を楽しめ、子供椅子もご用意していますので、お子様連れも歓迎です。月替わりエスニック料理もご好評いただいております!1月のエスニック料理は「エジプト」です。また、1月17日から1月末までは防災月間にあわせ「各国防災Mix」料理をお届けします。お楽しみに!



写真はエジプト料理

月替わりエスニック料理の詳細と写真はこちら→

JICA関西食堂

<https://www.jica.go.jp/kansai/office/restaurant/index.html>

■営業時間＝(昼)11時半から14時まで(夜)17時半から21時まで
※各終了30分前ラストオーダー

コロナの状況を踏まえて営業時間に変更になる可能性があります。

■定休日＝年中無休(年末年始を除く。)

(注)詳しい休業日についてはJICA関西ホームページをご確認いただくか、下記までお問い合わせください。

◎問い合わせ

JICA関西(独立行政法人国際協力機構関西センター)総務課

TEL 078-261-0341 FAX 078-261-0342

Eメール jicaksic-event@jica.go.jp

その他、詳細はJICA関西ホームページをチェック!

→ <https://www.jica.go.jp/kansai/>



日本赤十字社 兵庫県支部

オンラインで学べる赤十字講習会のご案内

感染リスクを心配せず安心して自宅等から参加いただけるように、オンライン講習会(Zoomを使用)を開催しています。命と健康を守る知識と技術を身に付けるため、ぜひ参加してください。

詳しくは、日本赤十字社兵庫県支部ホームページ(<https://www.hyogo.jrc.or.jp/lecture/online/>)をご覧ください。

いのちと健康を守る赤十字活動にご支援ください。

<https://www.hyogo.jrc.or.jp/donate/> →



◎問い合わせ

☎ 0120-078-456

 日本赤十字社 兵庫県支部
Japanese Red Cross Society

講習内容	開催日時
みんなで学ぼう応急手当	【救急法】きずの手当 2月4日(金) 10:30~11:30
ちょっと知ってみたい。認知症☆	【健康生活支援講習】地域で支える認知症 2月4日(金) 14:00~15:00
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置 2月28日(月) 10:30~11:30
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置 2月28日(月) 14:00~15:00
あなたは大切な人を救えますか?	【救急法】一次救命処置 3月17日(木) 10:30~11:30
こどもにAEDって使えるの?	【幼児安全法】乳幼児の一次救命処置 3月17日(木) 14:00~15:00

☆印の講習は講義のみです。それ以外は実技を含みます。

※オンライン講習の受講費は無料です



令和3(2021)年度秋期 災害対策専門研修マネジメントコースを開催しました

人と防災未来センターでは、地方自治体職員などを対象とした「災害対策専門研修」マネジメントコースを平成14(2002)年度から実施しています。災害対策実務の中核を担う人材の育成を目的とし、阪神・淡路大震災の教訓を学習することを重点としつつ、最新の研究成果も取り入れ、能力に応じた体系的・実践的なカリキュラムです。これまでに、延べ3,513人が受講し、受講生からは高い評価を得ています。

今回の秋期研修においては、中堅職員を対象としたエキスパートAおよびエキスパートBの2コースを実施。春期研修に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策としてZoomによるオンライン開催となりました。

アンケートでは、「分かりやすく説明、解説等していただき、知識や技術の向上が図られた」「自分の役割を再認識する機会となった」「他の自治体の方々の質問や意見もとても勉強になった」「講義内容が多岐にわたり充実しており、知識として必要なものや即座に実務に生かせるもの、今まで気づいていなかったが進めていかなければならない

ものなど多くのことを学ぶことができた」「民間企業の方々の講義はまた違った視点での話で勉強になった」「オンラインの研修だったが、ワークショップもスムーズに行えてとても参考になった」「近年の災害による事例など最新の知識を得られた」「全体的に自分にとって『知りたい・理解したい』内容で構成されていた」等の意見を頂きました。



コース名	日程	参加人数	修了者数
エキスパートA	10月5日(火)～8日(金)	30人	30人
エキスパートB	10月19日(火)～22日(金)	29人	28人
合計(延べ)		59人	58人

資料室企画展「ひとぼうのたからもの」

人と防災未来センターでは、令和3(2021)年12月14日(火)から4年5月8日(日)まで、資料室企画展「ひとぼうのたからもの」を西館5階資料室(無料ゾーン)で開催しています。

令和4年4月に開館20年を迎える当センターには、現在約19万点の震災資料が保管されています。兵庫県は震災資料を「地域や時代を超えて後世に残していかなければならない私たちの財産」と捉え、平成7(1995)年10月から収集・

保存する取り組みを始め、その活動は(財)21世紀ひょうご創造協会、(財)阪神・淡路大震災記念協会を経て、今日の人と防災未来センターに受け継がれてきました。

本企画展では、震災資料の収集とセンター開館までの歴史を振り返り、「後世に残していかなければならない私たちの財産」である震災資料がどのように集められ、つながってきたのかをパネルと関連資料の展示により紹介します。

■お問い合わせ

人と防災未来センター 西館5階資料室(開室時間9:30～17:30)

TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062

資料室はどなたでも無料でご利用いただけますが、現在、新型コロナウイルス感染症予防のため、一部サービスの利用を制限しております。詳しくは、ホームページをご確認ください。(https://www.dri.ne.jp/information/6382/)



震災資料のメッセージ 「『働く場』が『復興の地』へ一振り返るHAT神戸」

「震災資料のメッセージ」は、人と防災未来センターに寄贈された一次資料(震災当時に被災したり、使用された現物)を、テーマに沿って紹介するスポット展示です。

人と防災未来センターは、令和4(2022)年、開館20周年を迎えます。節目の年を迎えるに当たり、本年度後期は「『働く場』が『復興の地』へ一振り返るHAT神戸」をテーマに、当センターが立地するHAT神戸地区の歴史を伝える震災資料を紹介しています。

当地区は、長年にわたり鉄鋼産業等の一大拠点として、神戸の、そして日本の経済成長を支えてきました。しかし、産業構造等の変化に伴い、平成に入るところには生産拠点の移転等による大規模工場の遊休化が進んでいました。当地区の新たな土地利用計画について、整備の基本方針が示されたのは平成5(1993)年のことです。その矢先に発生したのが阪神・淡路大震災でした。震災によって甚大な被害を受けた市街地の復興、特に緊急かつ大量の恒久住宅の供給が重要な課題となり、東部新都心(HAT神戸)計画は新たな「まちづくり」としてスタートすることになったのです。

今回の展示では、水彩画やHAT神戸のパンフレット等を通して、当地区のかつての風景や新しい街づくりへの取り組みなどについて、紹介しています。ぜひご覧ください。

- 期間：令和3(2021)年11月30日(火)～令和4年5月29日(日)
- 展示場所：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター西館3階(有料ゾーン)
- 展示内容(展示資料)

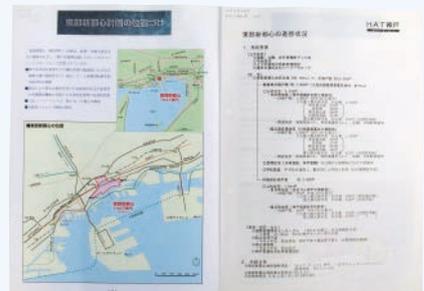
1 水彩画



戦後の神戸の街を描き続けてきた宇佐美重氏の水彩画の中から、HAT神戸地区臨海部にかつて立地していた川崎製鉄株式会社と株式会社神戸製鋼所神戸工場を描いたものを展示します。

2 パンフレット・情報誌・テレホンカード

東部新都心(HAT神戸)計画をPRするために刊行されたパンフレットや、「まちづくり」としての取り組みを紹介する情報誌、着工記念として発行されたテレホンカードを展示します。



※資料に関するお問い合わせは、資料室へお願いします。(西館5階)
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

観覧案内・予約 / TEL 078-262-5050 <https://www.dri.ne.jp/>

開館時間

9時30分～17時30分(入館は16時30分まで)
※7月～9月は9時30分～18時(入館は17時まで)
※金曜、土曜は9時30分～19時(入館は18時まで)

入館料金

大人：600円(450円) 大学生：450円(350円)
東館のみ観覧の場合
大人：300円(200円) 大学生：200円(150円)
高校生、中学生・小学生：無料
※()内は20名以上の団体料金
※障がい者、70歳以上の高齢者割引有
※毎月17日は、入館無料
(17日が休館日の場合は、翌18日となります)

休館日

毎週月曜(月曜が祝日の場合は翌平日)、12月31日と1月1日
※ゴールデンウィーク期間中(4月29日から5月5日まで)は無休
※資料室の開室日についてはホームページでご確認ください

交通

鉄道

- ・阪神電鉄「岩屋」駅、「春日野道」駅から徒歩約10分
- ・JR「灘」駅南口から徒歩12分
- ・阪急電鉄「王子公園」駅西口から徒歩約20分

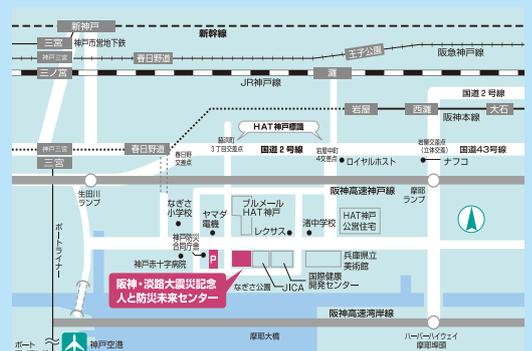
バス

- ・三宮駅から約15分

車

- ・阪神高速道路神戸線「生田川」ランプから約8分
- ・阪神高速道路神戸線「摩耶」ランプから約4分
- ・阪急・阪神・JR「三宮」駅から約10分

- 有料駐車場あり ● バス待機所(予約制/無料)あり



企画展「減災グッズ展vol.8 あんどうりす流セレクション展 アウトドアライフの知恵と技術に学び、活かす、備え方」を開催しました

人と防災未来センターでは、令和3(2021)年9月22日(水)から12月26日(日)まで、企画展「減災グッズ展vol.8 あんどうりす流セレクション展 アウトドアライフの知恵と技術に学び、活かす、備え方」を開催しました。



この企画展では、災害時にアウトドアライフのノウハウを活かすため、アウトドア防災ガイドのあんどうりす氏が提唱する、いざというときのために身に付けたいスキルや非常時に役立つアイテムをアウトドア用品

企業などの協力を得て紹介しました。

また、12月3日(金)には、関連イベントとして「アウトドアのノウハウに学び、活かして備えよう! あんどうりすさんと語り合う、減災セミナー」をオンライン開催しました。企画展会場で展示しているグッズについて、改めてあんどう氏に解説していただいたほか、参加者からの質問にも答えていただき、有意義な時間を過ごすことができました。



企画展「祝オリックス・バファローズ パ・リーグ制覇記念特別展示」を開催しました

人と防災未来センターでは、令和3(2021)年10月30日(土)から11月30日(火)まで、25年ぶりのパ・リーグ優勝を記念して「祝オリックス・バファローズ パ・リーグ制覇記念特別展示」を開催しました。



阪神・淡路大震災が発生した平成7(1995)年。オリックス・ブルーウェーブ(現オリックス・バファローズ)は、「がんばろう神戸」のワッペンを右袖に付け、復興を目指す被災地のシ

ンボルとしてペナントレースを戦い、見事パ・リーグ制覇を果たしました。翌年、連覇を果たし、日本一にもなりましたが、その後、優勝から遠ざかっていました。

企画展では、令和3年10月27日(水)、オリックス・バファローズが25年ぶりのパ・リーグ優勝を成し遂げたことを記念し、当センターが所蔵しているワッペンの付いたユニフォームや優勝記念品などを展示しました。

この企画展をご覧になるために来館されたお客さまも多く、「がんばろう神戸」を合言葉に被災者である神戸市民がチームと共に戦った当時の思いを改めて振り返っていただく機会となりました。

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 来館者900万人を達成しました

人と防災未来センターは、平成14(2002)年4月27日のオープンから営業日数6,025日目の令和3(2021)年11月26日(金)に、来館者900万人を達成しました。

900万人目の来館者は、三田市立弥生小学校4年生の皆さまで、阪神・淡路大震災やいざというときに命を守る行

動について学ぶため来館されました。

児童3人が代表として壇上に上がり、河田恵昭センター長より、防災グッズセット、センター長著書などの記念品を贈りました。



Hem21 NEWS
vol.91

令和4年1月発行

(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2(人と防災未来センター)
<https://www.hemri21.jp/>

当機構は、以下の組織で構成しています。

●管理部

TEL 078-262-5580
FAX 078-262-5587

●研究戦略センター

▶研究調査部
TEL 078-262-5570
FAX 078-262-5593

●人と防災未来センター

TEL 078-262-5050
FAX 078-262-5055

▶学術交流部

TEL 078-262-5713
FAX 078-262-5122

●こころのケアセンター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通1-3-2
TEL 078-200-3010
FAX 078-200-3017

ニュースレターに関するご意見・感想を機構までお寄せください